

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

# aito

7

Jul 2024

No.352



Stay the course



人の役に立つものを作りたい

立川支所管内 長南 うめさん(73)

私は、元々縫製会社に勤めていたこともあり、定年退職後から現在まで裁縫を楽しんでいます。ミシンを使うことが好きで、暖簾やバッグ、弁当入れ、ティッシュケース、マスク入れの他、孫のために服や運動着入れなど約100点制作しました。猫が好きなので、猫のイラストが入っている布を使うことが多いです。

1作品に2〜3日ほどかけており、自分がイメージしたものが完成すると楽しいです。また、知人から制作を依頼されることもあり、人のために作ることの喜びも裁縫の魅力です。

最近では、女性部立川支部の女性部まつりで作品を展示しました。今後は、人の役に立つ雑貨などの制作やさしこ作りに挑戦したいです。

日常生活で役立つものを作っています!



あいとキッズ

藤島支所管内 石向 莉士くん(6) 世莉ちゃん(2)

今の個性を大切に育ててほしい!

莉士くんは人見知りせずいつも元気いっぱいなお兄ちゃん。積み木やLEGOなどの組み立てるおもちゃにハマっています。

お兄ちゃんが大好きな世莉ちゃんは、おっとりな性格で、おままごとやお人形あそびが大好きです。



二人ともポテトが大好き♡

トラクターの運転手になりたい!

歌うことがマイブーム♪



ファミリーファーム

FAMILY FARM

地域の土地は地域で守る!

三川支所管内 飯田 政樹さん(47) 陽向くん(7)

私は、父の病気をきっかけに21年勤めた地元企業を退職し、就農して8年目になります。現在、水稻を10%と大豆を50%栽培しています。

就農前も田植えや草刈りなどを手伝ってはいましたが、すべてを自分だけで行うことは大変でした。それでも最近ようやく要領を掴めてきたと思います。

元々体を動かすことが好きな私は、体を鍛える感覚で「のんびりと長く気負いせずに」をモットーに農業に向かっています。週末はサッカーの指導者として小学校で子供たちと一緒にサッカーをすることに楽しさを感じています。

今後は離農する農家も増えてくることが予想され、個人経営にも限界が近づいていると感じています。農機具の共同利用や農地の集約、場合によっては法人化も視野に入れ、地域の土地は地域で守り、次の世代に繋げていきたいと思っています。



SHONOSEITRY

庄農生トライ

持続可能な農業の為に研究を続ける

食品科学科3年 阿部 優歩さん



近年、地球温暖化の影響により以前と比べて顕著に発生する異常気象が問題となっています。山形県もその例外ではなく、夏の猛暑や冬の降雪量の減少などが挙げられます。そこで、山形県の過去の平均気温を調べたところ、1998年に比べると、2022年では約2℃上がっていることがわかりました。物流の発展により利便性が向上しましたが、環境への反動は大きいものでした。

これらを踏まえ昨年からはレモンやミカン、ユズなどの柑橘類の北限の上昇について調べる研究に取り組んでいます。そこで地産地消を進めることによって輸送エネルギーの消費を抑えることができると考えています。持続可能な農業の為に継続的に研究を続けていきたいです。



# 庄内たがわ農業協同組合 第29回 通常総代会



## 特集 第29回通常総代会

J A庄内たがわは6月24日、三川町のなの花ホールで第29回通常総代会を開催しました。総代432名(実出席303名、書面出席128名、代理出席1名)が出席し、議長に新余目支所第一地区総代の富樫一幸さんが選出され、上程した9議案が原案通り承認されました。

令和5年度は、7月下旬以降の記録的な高温・少雨により管内各地の多くの作目で正品数量の減少や品質低下により災害級の農作物被害が発生しました。異常気象が常態化し、今後も高温障害が発生する懸念があることから、高温時の栽培管理の優良事例等を集集し、関係機関と連携により技術支援に取り組んでまいります。また、施設整備は9月に庄内柿脱渋・青果物予冷設備、令和6年3月には大豆乾燥調製施設の新設と大きな設備投資を行いました。

令和6年度は、中長期的な本支所施設の再編として、令和7年2月北部支所の施設再編、令和7年4月南部支所の機能再編を行います。また、第9次中期経営計画の最終年度として諸活動を展開するとともに、第10次中期経営計画策定を計画しています。

今後とも農協の理念である「相互扶助」「自主・自立」「共存共栄」のもと、持続的な農業・地域共生の未来づくりに向け「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現のため、組合員をはじめ地域の皆様のご協力を頂き、役職員一丸となって各事業目標達成に向けて取り組んでまいります。



### 主な質疑応答

**質** 6月19日の新聞報道にて農林中金が米国債の運用失敗により、当初見込んでいた5000億円超の赤字が、約3倍の1兆5000億円に膨らむ見通しを示した。農林中金が農家や地域農業の発展のために使用するべき資金を使い、リスクの高い運用を行ってきた、このような結果になったことは、非常に責任が大きいと思う。2008年のリーマンショック時は、5700億円の赤字に対し、各農協に1兆9000億円の増資要請があり、庄内たがわ農協もそれに応じた経過がある。今後もし増資要請が具体的に出てきたらどのように対応するのか伺う。



**答** 農林中金の関係については、5月22日に農林中金の理事長が記者会見を行い、2024年度の決算について、5000億円強の赤字決算を計画するという対応をしております。しかし、今月に入ってから、農林中金から発せられた情報の中で赤字額が3倍ほどの金額になっているとの報道がありました。5月時点の内容については、農林中金として様々な方針を検討している途中の数字であったと伺っております。なぜ途中の数字を出したのかということですが、農林中金において、そうした検討をしているという情報、何らかの形で外に出してしまったと伺っております。その情報は、その記事を扱う記者の見解や思い入れなどが含まれており、正しくない情報が世の中に発信されてしまったとのことですので。そうした情報が一人歩きをしますと、農協の信用部門の窓口等で混乱が起きうる可能性もあるということ、現状の中でその情報を出さなければいけないだろうという判断に至ったというように伺っております。その中で最終的に、先週であります、農林中金自体の総代会が開催され、そこに提案する内容が決定し、今、加藤総代が言われたような、1兆5000億円超の金額が正直なところになります。農林中金は、農林中金法という法律の中で

事業を行っており、その中に会員というものが示されており、第一次産業の関係がその会員となるわけですが、その会員から集まった資金を運用して運用益を出し、出資金配当や利息、奨励金等で還元をしていくことが、農林中金の役割であり、使命であります。そういう動きの中で、今回のことが出てしまったのかということですが、金融の運用市場の中では低リスクといわれる国債、米国債を今回、処理をするという内容になっておりますが、アメリカの金利が急激に上がった中で、金利が上がるのと国債の評価が下がるという関係にあるわけなので、そこで評価損ということになります。ただ国債でありますから、満期まで持つていけば、元本が目減りすることなく、契約した時の金利がそのまま毎年入ってくるようになりますので、基本的には問題がないことと思っております。ただし、評価損をそのままにしておく、格付機関により金融業界の中での格付けは下がってしまいます。そうした場合、有利な運用を行うおうとする時に難しい部分が出てきます。ですから、評価損の部分も処分し、一年だけ、計画的、戦略的に赤字決算を計画するということだと聞いております。そして、次年度からは黒字体質にして、会員に対しての還元

がまたできるようなするという、そうした戦略的な動きの中で、今回の決算が行われたことでもあります。大きい数字が出ており、インパクトがありますが、これは確定の数字ではなく、見込みでの計画でありますので、実際金融市場が動いた場合には、もっと少ない数字になる可能性もありますし、もっと大きい数字になる可能性もありますので、あくまでも現時点での数字ということで、ご理解をお願いしたいと思います。また、運用の仕方がまずかったのではという指摘はごもっともだと思いますし、先週開催された総代会にも農協として参加をし、今あるような現場の厳しい声を伝えてきております。全国の総代の皆さんから同様の指摘があったところでもあります。結果的には総代の皆さんからの判断で決まったという話を聞いております。会員に還元をするという使命を担っている中で、このようなことが発生してしまっただけということではありませんので、理解していただきたいと思います。

# JA NEWS

## 梨・適切な管理で高品質生産につなげる

櫛引支所なし部会は6月13日、櫛引地域で和梨の栽培管理講習会を開いた。参加した部会員約10人が、新梢管理や摘果作業のポイントについて学んだ。今年産は、平年より4日早い4月22日に満開を迎え、天候に恵まれたことで果実肥大は順調。収穫始期は8月20日を見込んでいる。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者が栽培管理のポイントを説明。番線や枝などに接触しない位置の果実を残す他、小さい果実や病害果などは摘果するようアドバイスした。また、収穫・選果の準備は早めに行うよう呼び掛けた。同部会では引き続き、適期の病害虫防除を実施し、高品質生産を目指していく。



## 山ぶどう・防除徹底し病害対策を

朝日支所山ぶどう部会は6月28日、朝日地域の園地で特産品「月山ワイン」の原料である「山ぶどう」を始めとした醸造用ブドウの夏季管理講習会を開いた。参加した部会員約20人が、高品質生産に向けて今後重要な栽培管理のポイントを学んだ。この日は、白ワインの原料となるブドウ品種「シャルドネ」や「山ぶどう」の園地3カ所で今後の栽培管理を確認。今年産は、果実肥大が良好で順調に生育が進んでいる。講師を務めた県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者は「枝の太さで芽数を調整する他、7月中旬まで雨が続く予報のため病害に注意し防除を徹底してほしい」と呼び掛けた。



## 青田巡回し生育と今後の管理確認

青年部は6月6日、鶴岡市藤島地域と三川町、庄内町の青田3カ所を巡回し、生育状況と今後の栽培管理について学んだ。この取り組みは、部員らの栽培技術向上を目的に毎年行われている。この日は、部員約10人が参加。稲作技術を指導している「稲株塾（とうしゅじゅく）」の佐藤さんが講師となり、田植え後の苗の状況を確認した。佐藤さんは「草丈や葉数、葉色などは良好なため、今後は水管理を徹底し初期生育を確保してほしい」とアドバイスした。今年産は、苗の葉齢が平年並みで順調に生育が進んでいる。部員らは引き続き、学んだことを活かしながら稲刈りに向けて栽培管理を徹底していく。



## シャインマスカット・摘粒学び品質維持に努める

ぶどう部会は6月25日、櫛引地域でブドウ品種「シャインマスカット」の摘粒講習会を開いた。部会員約40人が参加し、摘粒のポイントや今後の栽培管理を学んだ。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者が摘粒のポイントについて実演を交えながら説明。粒の大きさや向きを確認し、混んでいるときは、小さいものや潜っている粒を取り除くようアドバイスした。また、降雨による病害の発生に注意することを呼び掛けた。今年産は、平年より6日早い6月7日に満開期を迎え、順調に生育が進んでいる。同部会では今後、適期での病害虫防除を実施することで高品質生産につなげていく。



### 質

「食料・農業・農村基本法」の改正については、食料自給率の

ある中で、この米価高騰がなぜ生産者手取りに反映されないのかを伺う。

**答** 米価については、米市場全体からのスポット的に高騰の動きがあります。全体のものに波及しないと考えると、全体的なものに波及しないと考えることができます。卸しの価格は前年から1割高程度の小幅な上昇に留まっており、一部に見られる価格の高騰に、卸しやスーパー店舗等では戸惑いがあるというのが現状だと伺っております。6年度の米価については、民間在庫が少ない状態になっておりますので、値上がり基調になるのではないかと考えますが、安定した生産の中で安定した金額での取引というのが望ましいと考えます。米価の急激な上昇により米の生産が主食用米に傾倒していった場合には需給のバランスが崩れますので、それも見据えた中で適正価格が決められていくと思っておりますが、物価が高騰する中、農業者にとって再生産価格を加味した米価の決定がなされなければいけないと考えます。当農協では農協直接販売米の取り組みを強化しており、その成果として昨年末には独自の米の追加精算を実施致しましたし、今後も支払金額の増大を試みています。

向上を無くした大変な問題の法律ではないかと思う。合わせて有事食糧法が6月に成立したが、万が一の時に農家に芋と米を強制的に作らせ、従わなければ警察が取り締まるといふ、まさに戦前戦後を思わせるような法律である。またスマート農業法は少数の農家が高生産性農業をするための法律であり、集落に一人か二人しか農家がいないと構わないという大変大きな問題ではないかと思う。組合長に対し、農家と農村の立場に立った見解を伺う。

**答** 有事食糧法について、一農業者合に、協力するという体制は必要と考えます。またこの法律では計画書を提出すると、罰則の対象にはならないと伺っております。今後、食料自給率の低下が懸念されますが、国産国消を国民の皆さんからも理解していただき、国の農業を守っていく、食料自給率を上げていく、というところについてはしっかりと国の施策に対し運動をしていかなければいけないと考えております。スマート農業法について、今後地域の農業人口が減少していくなか、機械に頼っていくことは一つの考え方であると思えますし、興味を持ちながら進めている若手農業者もおられます。農水省ではリース事業や共同利用等を活用し進めてはいますが、現実として高額

な農業機械の導入や中山間地域などの圃場条件が厳しい生産者には難しい取り組みとなつていきますので、この内容を精査した上で農政運動をしっかりと行わなければならないと考えます。

**質** 剰余金処分案の中で米1俵50円の事業分量配当というのは、29年間の中で初めてではないかと思う。事業分量配当で米に対する配当はJA鶴岡、余目町農協も毎年やっているが、庄内たがわ農協は合併して初めてではないかと思うが、その判断に至った見解を伺う。

**答** 剰余金処分案について、以前にも事業分量配当にて対応をしたことがありますが、過去には出資配当と事業分量配当を一緒に支払いをしたこともあります。ここ近年においては、平成27年に出資配当を行っています。今年については、昨年の米の生産状況や取扱手数料の改定をした経過もあることから、米に対しての事業分量配当を提案させて頂きました。出資配当については、皆さんから出資を募っている状況であり、基本的には出資配当をしていかなければいけないものだと思っております。今年につきましては、出資配当にまで手が回らなかったというところでのご理解をお願いいたします。

株式会社 **あいさーび**

取締役

日向 誠

新任役員のご紹介  
非常勤理事3名

三浦 和彦  
(鶴岡市・稲生)

成澤 和彦  
(三川町・東沼)

日向 誠  
(庄内町・添津)

# 夏は出羽美人で乾杯。

JA庄内たがわ枝豆部会ではプロジェクトチームを設置し、食味品質の向上に努めています。

山形大学農学部との協力を得て世界で初めて実用化！

## 出羽美人とは

昨年の8月から販売を開始した庄内産茶豆の新ブランド。  
令和4年7月に導入した光センサー食味計で枝豆に含まれる遊離アミノ酸とスクロースを分析し、旨み成分と甘み成分を数値化することで栽培に活かすという世界初の取り組みを行っています。

おいしいゾーンを設定し、おいしさをチェック！  
おいしいゾーンから外れた場合は...

栽培改善に取り組みおいしさアップのサイクルを行うことで食味を向上させます。

旨み甘みに拘った出羽美人が完成！！

栽培管理を確認し

おいしいゾーンを外れた原因を探る

6月4日  
6月6日  
6月10日  
6月13日  
6月17日  
6月20日  
6月23日  
6月27日  
6月30日



発売期間 2024年7月中旬～8月下旬頃 お申込み期日 2024年7月31日まで  
【お問い合わせ】JA庄内たがわ 園芸特産課 TEL0235-64-4972 FAX0235-64-4920

## 共済Q&A

Q JA共済Webマイページとは何でしょうか？  
A Webマイページは、これまでJAの窓口に向かなければできなかったお手続きや、紙の帳票による契約内容の確認等を、お手持のスマートフォンやパソコンで完結することができるJA共済の契約者向けインターネットサービスです。

- ①契約内容の確認 いつでもどこでも、契約内容や各種ご案内を確認できます。
- ②各種Web手続き 住所や電話番号、振替口座の変更がWeb上で完結できます。
- ③自動車共済の継続 窓口へ行く時間がなくても、自動車共済の継続手続きがWeb上で完結できます。
- ④払込明書のデータ発行 年末調整・確定申告に利用できる控除証明データを取得できます。

Webマイページに登録しませんか？  
令和3年4月にリリースしたWebマイページは、全国の登録者が183万人を突破しています。  
★Webマイページで皆様の暮らしに「安心」と「便利」を！ ★登録時間はたったの5分。登録、利用には費用は発生しません。  
★「Webマイページ新規登録キャンペーン」先着70万名様に500円相当のデジタルギフトをプレゼント（JA共済IDをメールアドレスで登録）

詳しくは、お近くのJA庄内たがわ共済課窓口へ [24066000094]

## 長ねぎ・栽培管理学び高品質・安定出荷目指す

長ねぎ部会は6月20日、本所で栽培講習会を開いた。夏場の栽培管理の徹底を図るために部員約30人が参加し、夏場の病害虫対策や排水対策のポイントを学んだ。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課、全農山形庄内生産資材推進室の担当者が栽培管理の留意点を説明。病害虫防除は予防が基本。今後の発生を予測し早めの防除を心がける他、地域全体で除草や排水などの基本的な対策を行うようアドバイスした。また、土壌の酸性度の改善を図るよう呼び掛けた。同時に令和5年産軟白ねぎ販売総括会議も開催し、前年産の販売経過と今年産の課題について、営農販売部の園芸特産担当者より説明があった。



## JA職員が農作業を体験

入組し今年度で2年目を迎える職員と30歳を迎えた職員4人が6月、管内の農家のもとで農業研修を行った。JAでは、生産農家の現場で実際に農作業を体験することで農家の抱えている問題やJA職員としての心構えを学ぶことを目的に入組2年目または30歳を迎える職員を対象に2014年度から同研修を実施している。櫛引支所信用課信用係の石川達也さん（23）は6月17日～21日の5日間、櫛引地域の鈴木善一さんのもとでキュウリのつる上げやトルコギキョウの定植作業などを体験した。石川さんは「とても貴重な経験だった。農家の大変さを知った反面やりがいを感じた」と研修を振り返った。



## ネットメロン・天候による被害に注意

ネットメロン部会は6月21日、三川町で圃場巡回を行った。この日は、部会員3人が参加し、圃場3カ所を巡回。高品質生産につなげるため生育状況や今後の栽培管理を入念に確認した。今年産は、気温が高く推移したことで害虫の発生が早まったものの、予防防除を行ったことで被害を未然に防ぐことができた。園芸特産指導員によると、これから梅雨時期に入り病害が懸念されるため害虫の防除を含め予防的な防除を行う他、高温が予想されることから夕方灌水や遮光材などを用いた高温対策が重要だという。同部会では引き続き、高品質・大玉生産に向けて栽培管理を徹底していく。



## 食農教育の一環として地元NPO法人へ食材寄贈

JAは6月29日、藤島地域で活動している特定非営利活動（NPO）法人「明日のたね」へ特産品のサクランボを2㌔、JAグループ山形のオリジナルランチオンマットなどを寄贈した。この活動は、JAグループ山形「子どもの居場所づくり」サポートプロジェクトの一環として2020年から行われており、5年目となる。同プロジェクトは、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた取り組みであり、食品ロス削減や資源リサイクル運動などに取り組み、子ども食堂への食品などを支援する。食材の提供や食農教育を通じて同プロジェクトの推進、子ども食堂との結びつきを広げていく。





やまぐち あいみ  
山口 愛美さん 羽黒支所管内

3歳児クラスの担任として保育士の仕事を頑張っています。休日には録画したドラマや映画を自宅でゆっくりしながら見たいです。今後は、ドライブしながら色々なところへ行ってみたいです。  
撮影場所 = Farm&Garden KOKO189

# 「心の声」

雨の日でも楽しめる  
過ごし方を教えてください。

ゆっくり「晴耕雨読」です。他に体育館にウォーキングに行ったり、好きな外国の推理ドラマの録画やプライム・ビデオで映画鑑賞です。  
奥が深く字幕と言う事もあり目が離せません！ M・Hさん【新余目】

雨がシトシト降る中、若い頃美術館で求めた画集をじっくり見たり、又、集めて来たポストカードを眺めて、その折々の美術展を思い出して楽しく過ごしています。 Y・Sさん【榎引】

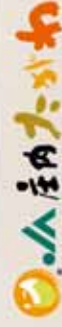
雨の日は気分がのらない日もあるので、私は録画したテレビ番組をのんびり見て、笑う事で気分を上げています。体を動かすより、バラエティや音楽番組をゆっくり見るのがオススメです。  
K・Yさん【朝日】

カードゲーム・ボードゲーム クラシカルな遊びは新鮮。  
N・Sさん【鶴岡市】

雨靴と傘を買いました。私にしては大奮発してお気に入りのゲットしました。雨の日は雨靴と傘を使えるのでルンルンです。案外と安い買い物だったかも、ふ、ふ、 S・Mさん【新潟県】

家でゴロゴロ寝たり、パソコンでゲームなどして遊ぶのが中心です。  
K・Tさん【埼玉県】

雨の日は外出が面倒なのでテレビゲームに没頭します。 H・Kさん【愛知県】



aito

Jul 2024 No.352

発行/庄内たがわ農業協同組合

〒999-7611

山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1

TEL.0235-64-3000

電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp

印刷/庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ

X (Twitter)

Instagram